


【刊夕】日六十二月八



定部金一錢 郵費五厘 印刷費五厘 廣告料五厘  
 發行所 常磐新報社 印刷所 常磐印刷社  
 電話 三六三〇 社址 常磐新報社  
 支店 東京 大阪 名古屋 仙台 盛岡 青森 弘前 秋田 岩手 山形 宮城 福島 茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川 新潟 富山 石川 福井 山梨 長野 岐阜 愛知 三重 滋賀 京都 大阪 兵庫 岡山 広島 山口 徳島 香川 愛媛 高松 高知 福岡 佐賀 熊本 大分 宮崎 鹿児島 沖縄

### 明新再度平町に 産業博覽會の企劃に就て 郷土の諸卿に訴ふ(一)

伊 東

大正十四年國産博覽會を開催したる時は未だ何等の經驗も智識もなく諸賢の絶大なる御後援の基に華かに開催し無事閉會したるに過ぎず。而し其目的は産業の開發新工業の勃興に幾分資せんとしたが爲めである。今日我平町は折柄の經濟界不況打撃に不拘市街の体裁工業の進歩人口の増殖、交通の整備等躍如として其面目を現と雖も余の期待する組合産業新工業の勃興に至つては心細い限りである。由來石城人士は妥協性に乏しく協力以て事に當る事をなさざる惡癖がある、余が多年各地を巡歴し見聞する處に依れば我郷土産業の開發す可き餘地渺なからざるを感ずそれ産業の盛衰は其地の疲弊と發展の根元である、幸我郷土常磐の地は産業の原料物資豊富にして自ら進んで研究し、産業を起し地方の福利を増進するは刻下の急務である。否原料に不足

を感じる難も交通の至便は是を補ふに足る彼の甲府は人も知る水晶と印傳の産地なれど水晶は南米ブラジルより輸入し印傳の原料は廢物となる舊皮革の加工品である。富山は其賣藥の原料一切を輸入し巧に調劑して年幾千万圓を賣出して居る、水戸の梅の原料は常盤公園に非ずして山形縣より輸入し菓子の子年産額貳百万と云ふ、或地方は佛壇のみの産地もある。刃物のみの産地もある、漆器あり鐵瓶あり陶器あり紙あり織物あり各種各様の専門的の製産地がある。或は養鶏養豚養魚等實に枚舉に遑はない然も何れも全力を注ぎ縣外は勿論海外に迄輸出を計つて居る。名古屋近在の大根濱は年に十萬樽を大阪に送り且つ海を超へ北海道、樺太地方に輸出せられ又幡州の麵類、岡山の疊表、鹿兒島の竹細工等縣外海外に輸出し其販路を開拓しつゝあり。然るに我郷土石城は稻作の改良蔬菜の増收さへ計らず日に十車千五百俵の米を輸入購買し重要衣食品は勿論日用品益暮の贈答品から菓子、提灯、疊表、カンピヨウ、化粧、賣藥、玩具の端に至る迄年何百萬圓と輸入購買して居るのである。

### 水明夏行句抄(第一回)

阿 部 芳 月  
 跣足の子水鐵砲に余念なし  
 渚邊に跣足のあとのしるきかな  
 青蜥蜴日當る岩にあらはれし  
 金 成 喜 山 郎  
 刈りすゝむ草にふと見し蜥蜴かな  
 青蜥蜴草にうつりし光りかな  
 山下 率 資 子  
 岩窟に光れる水や蜥蜴這ふ  
 水溜り溢るゝ跣足引き上げぬ  
 渡 邊 龍 膽 女  
 川床の石踏みて來し跣足かな  
 トカゲ光りて草に沈みけり  
 跣足の子雜魚網かむり戻り來し  
 苔ふめば水しみ出でしす足かな  
 渡 邊 何 鳴  
 谷齒桑にかゝりやき落ちしトカゲかな  
 岩壁の芒に消えしトカゲかな  
 朝潮の砂心地よきす足かな  
 す足の子松葉牡丹をまたきゆく

魚等實に枚舉に遑はない然も何れも全力を注ぎ縣外は勿論海外に迄輸出を計つて居る。名古屋近在の大根濱は年に十萬樽を大阪に送り且つ海を超へ北海道、樺太地方に輸出せられ又幡州の麵類、岡山の疊表、鹿兒島の竹細工等縣外海外に輸出し其販路を開拓しつゝあり。然るに我郷土石城は稻作の改良蔬菜の増收さへ計らず日に十車千五百俵の米を輸入購買し重要衣食品は勿論日用品益暮の贈答品から菓子、提灯、疊表、カンピヨウ、化粧、賣藥、玩具の端に至る迄年何百萬圓と輸入購買して居るのである。

婦人用傘特價品提供 ツルヤ  
 錢十五圓一。圓一。錢十九  
 電140

貸切は  
 電話六四〇番  
 平二丁目  
 尼子タクシー部  
 主任 澤正路

募集  
 上品なる美人(十八才ヨリ廿五才)  
 職務は食堂給仕 月收五十圓以上確實  
 壽し職人一名 大至急  
 見習一名  
 杵 壽 司  
 平町三丁目(電六七九)

正確の時計  
 平一常盤屋時計店  
 お客様本位の...  
 好適の眼鏡



配 達  
 風味 平町三丁目  
 本舗 大勝園  
 煎茶四十目袋入 十五錢  
 ほうじ茶四十目袋入 第二號十錢  
 本場銘茶の優良品を一段と品質を向上致しまして  
 英斷的値下致しました、何卒御試飲下さいませ  
 煎茶四十目袋入 十錢より  
 五十錢まで  
 ほうじ茶四十目袋入 十五錢  
 第二號十錢



吉田眼科病院  
 平町三丁目 電話六八番

### 考へ抜いた末の

## 鯉釣會も大欠損

磐崎村の養鯉場が  
水枯を來し大難澁

石城郡磐崎村大字上湯長谷にては區民が溜池に養鯉中であつたが最近の晴天続きに水枯を來し打捨て、置けば自然鯉も死滅する状態なので一策として同溜池の鯉釣會を廿日より三日間催し一人三日間一圓の會費を以つて一般の希望者を募つた處釣フアンが殆んど集まらず大欠損をしたと

日立電賦課率 石城郡平、好間、赤井、湯本の各町村では日立電氣株式會社に賦課する四年度分の營業收益税の付加税分割徴收について未だ協定成らず此程平町役場内で協議の結果會社の固定資産、經費、收入高等を各町村別に算出し固定資産と經費に對し二割五分、收入に五割の標準率を定め分割する事と妥協成立した

### 天候緩和で

## 米價が下落

平均相場に  
落付くらし

平地方の米價は干天続きの影響で非常な高値を表し本月十日頃は五等米一駄に付十五圓を示したが數日來漸次天候が緩和の目鼻がつい

## 共済の石山博士が 醫界に新研究發表

炭礦の坑夫にも  
結核患者が多い

炭礦内の労働者は其の職業的特殊現象からセメント工場の従業員等と同様の結核患者が多いと云ふ事が現在醫學の學說となつてゐるが意外にも今夏來石城郡三十四ヶ町村の  
囑託事業 として石城共済會病院で實施した輕費診療の結果炭礦労働者で立

## 間もなく新學期

### 保護者へのお願

曾我第一小學校長語る

楽しい長い夏休みもすぎたよ、學期始めとなりませ、夏は身心ともに緩む時で、殊に夏休みといふ開放された自由な生活に恵まれただけに、どうしてもだらけてをります、それが急に規律正しい

時間生活 にはち返るのですから、子供としては随分堅苦しい事には違ひありません、ですから家庭にあつては先づ出来るだけそうした規律正しい準備生活をして急激な堅苦し

即ち現在 學校で行はれてゐるラジオ体操に参加させ、そして朝の静かな涼しいうちに豫習復習の習慣をつけさせる事が大切であります、それから夏休み中に登山とか海水浴で鍛えた身もそれ切に放つておさま

### 今日話 の題

去る日、東京市麻布區我善坊町六三の煙草屋楠見さみ(五)方に中年の男が訪れ一人で留守番のため店に坐つてゐた同家の養女奈美子さんに「實はあなたを是非嫁に貰ひたいといふ青年がゐるんですが……」といきなり話かけた。そして中年男は奈美子さんの桃色の空想なんかお構ひなく、結婚申込の男の容貌、風采、勤務先、資産状態等獨りでペラ／＼三十分許りも喋り立てると、彼女の色よい返事も聞かず、そのまゝ立去つてしまつた。それから間もなくして、奈美子さんが何心なく奥の間に行つて見ると、筆箱の抽斗が投げ出されて現金十三圓八十錢也が紛失してゐた、若い娘獨りの店番を見込んで、二人組の泥的が仕組んだ仕業だが、考へたりな！エロドロ的！

多量の炭灰を肺臓内に貯へてをり乍ら尙且つ結核菌に胃されてゐる者を多數発見したのであつて同博士は近く此の  
新現象を 理論的統計的に研究の上學界に發表する筈である、右につき同博士は語る「炭礦地には結核患者が尠い事は確固たる理論はないが定説となつてゐる、然し當地で實際しん療にあつて初めてそれを裏

すといの効果もありませんですからその効果を充分に發起させ やうとしますにはやはり朝早く起きて冷水磨擦をやらせる事です、そうしますと非常に身が丈夫になつて冬になつて風邪に胃されるやうな心配もありませんし、身もだん／＼肥つてまゐります、尚秋口には食欲の増す時期ですが、餘程注意しませんと  
胃腸を害し、腸チブ

## 縣道修理促進

勿來町の陳情

石城郡勿來町から東白川郡へ通づる道路は去る五月一  
ストとか赤痢疫病のやうな恐ろしい病氣になる事がありません、即ち夏の疲勞した弱つてゐる胃腸へ秋の涼氣さにつれて急に食欲がまして來るので、つい口任せにたべてしまふので、いろ／＼の弊害を招く事になりますから、家庭においてはすべの方面に注意してやつて戴きます。

(平第一小學校長 曾我直治氏談)

日を期して行はれた道路愛護デー當日から縣道となつた筈なのに其後一向縣當局が修理工事に取掛らぬので地元民は不安を抱き昨廿五日同町有志赤津庄兵衛氏外十名平土木監督所を訪問し同縣道改築工事の促進方を陳情する處があつた

平町人事  
△出生 彌宜町五八 鈴木深治郎氏五女マサ子  
△死亡 材木町一三 當時石川縣石川郡石川町字彌善一〇二 佐々木力三氏 孫春海(一)

## 共済會 輕費診療開始

郡内廿四ヶ町村の囑託により六月一日より輕費診療を開始  
◎診療科目 内科 小兒科 外科 性病科 皮膚科 産婦人科 物理療科 耳鼻咽喉科 X光線科  
◎診察料 輕費會員 無料 共済會員 五十錢  
◎藥價 一日輕費診療 十五錢 入院料 共済會員 一圓以上  
院長 醫學博士 石山謙郎  
本院 主管 賀澤忠治  
◎衛生試験 醫化學的検査は何でも致しませ遠慮なく御利用下さい  
◎公休日 是廢しました  
◎尙御不明ノ點ハ各町村長又ハ本院ニテ御遠慮ナク御聽キ下さい

共済會  
電話六四一番

## 御 中 元

來る廿二日より卅一日迄  
時計、眼鏡、貴金屬類  
其他……正札の  
壹割引大賣出し  
特に修繕物は勉強致します

星野時計店  
(ヒ向ルビモトルマ) 日丁三平

### 甘い汁を吸はんと 黒幕に魔手を伸ぶ

悪らつ手段に泣く女達  
不良周旋業取締

平署管内の酌婦や女給は昨今轉住届出が餘りに多いのでだん／＼調べて見ると大部分手数料の甘い汁を吸はんとする黒幕が魔手を伸べた女等はこれが傀儡となつてゐるといふ事實があり十分取締る必要があるのでは平署ではこれを機会に彼等の悪辣手段に泣いてゐる女達を片づから調べ上げ不良周旋業の一斉取締を行ふことになつた

### 闇の中を逃げる

## 十四歳の少年賊

澤渡村生れの浮浪兒  
平町や内郷を荒す

廿五日夜九時頃平町南町地内を徘徊する一名の少年を平署員が取調べんとするや逃走を計つたので直に取押え本署に引致取調ると同人は石城郡澤渡村字下宿生れ住所不定鈴木政吉(一)假名と云ひ本月廿日平町に流れ込んで搔櫓小路一六製材工場湯澤常次郎(三)方が不在なのを奇貨として忍入り同人所有の金時計衣類等三十圓餘を窃取逃走した旨自白したが同人は常に内郷、平等を徘徊して居た模様なので餘罪多數ある見込である

### 警察電話の 電柱を取替

警察電算の都合上徹底的建かへ並に修理もできずチョットした雨風雪のためにも通話不能となるは珍しい事ではなかつた平署では秋の縣議戦に備へるべく且又鐵線或は電柱の倒壊を慮り九月一日から電柱取替を續行することになつた

### 才隴小路にも ヤケラが建つ

平町の舊盆に活氣を添えんと搔櫓小路青年分團にては同町朝日新聞專賣所東側に櫓を建て不景氣追拂ひの意氣込で老ひも若きも總踊りを爲すと

### 軌條撤廢 縣に申告

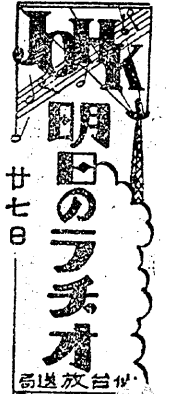
石城郡小名濱町を以て中心に敷設されてゐる小名濱海岸軌道は自動車の進出で營業は極度にゆきつまり江名、小名濱間の如きは昨年一月以降から運轉を中止してゐる、この區間は交通頻繁の地で軌條の敷設で道路は狹隘ばかりか土砂崩れ交通上の危険から地方民の陳情も頻々であるので平土木出張所では會社が今後も營業停止の場合には軌條撤廢を縣に申告適當の方策を講ずることになつた

### 差押物公賣

平稅務署では二十八日午前九時から同署に於いて五六兩年度分地租、所得稅、營業收益稅等直接國稅の滯納者三十人に對する差押物件の公賣を行ふ

### 日露の勇士が

賭博に身をもち崩す  
建之助(五)は賭博常習犯と



報豫氣天

今晩は北東の風驟雨模様明日は南東の風曇り天気次第に良くなる

### 今晩の部

- 後六、〇〇(子供の時間) バイブオルガン(日本橋三越より中継)
- 後六、三〇 趣味の科學智識「精神の遺傳と優生學」(其の一) 醫學博士林曉
- 後七、〇〇 全國ニュース(音聲ニエリスを含む)河北新報社ニエリス 氣象通報 告知事項 番組豫告 生蘭相場
- 後七、三〇 講演「東北の

### 明日の部

- 前六、〇〇 ラヂオ体操
- 前六、三〇 夏期英語講座「中等科第三講の二」 増田綱

### 今度の女ルンペン

震災に獨り生き残つて  
ロウ者の身を苦勞の數々  
本日平町役場にては女ルンペン宮城縣登女郡錦城村生れ松原カツ子(一)の身の上を同情し善華會から金一圓を惠んだが同女の一家は以前東京にて菓子屋を営んで居た處大震災に際し兩親及び兄弟と死別し自分獨り生き残つた身を救世軍の救愛館に救はれ筆墨等を行商して居たが石城郡磐崎村藤原炭礦に親戚があると聞いて本日來平したるに同炭礦は既に閉鎖した事とて親戚も何處へ行つたか宛が知れず困り果て、役場に出頭したものにて氣の毒な事には遺

### 勿驚破天荒廉賣

記念新坑着炭  
正味拾貫八入 一俵より  
量值火品 目段力質 正安強クク 正シク 配達します  
東京コークス。販賣

### 水野石炭商店

平郵便局通り 電話二九九番

江戸前料理 合巻

御重入辨當 金三十錢

御試食になりましたか錦水の 是非一度御注文願ます 出前迅速 錦水 新設電話四五四番

**梅毒** 淋病 皮膚病 婦人病 胃性腸病

**梅毒** 淋病 皮膚病 婦人病 胃性腸病

門專 院醫科 村松 町南平

七〇一話電



# 小説 七五郎

(二十一)

渡邊 默禪 作  
布施平八郎 畫

【載轉禁】

「どうしたの、それから」  
「いやはや全く困つたことになつたのぢや」  
「その困つた事とは。分つた、押へられつちまつたんでせう」  
「然うよ。」  
「まあ如何したつてんでせうね、旦那は兎に角お嬢さんが可愛さうだわ」  
「さ、それだからよ、俺も實際途方に暮れてゐる始末だ、とこで泣ッ面に蜂、主人はあんまり心配したもんだから急に腦を悪くして卒倒なさる。あの騒ぎのなかへ醫者が駆つける、七八人も手分けをして若大將の居所を探しに飛び出す、いやらしい混雜だつたよ」  
「あら、それぢやあ若旦那はお留守だつたの」  
「始末にいけねぞや、あのドラさんばかりは……今日で一週間にもなるが、何處へどう沈没したのやら影も形も見せあしねえんだ、それに奥さんも磯子の別荘へ遊びに出かけてまだお歸りにならぬもんだから、お嬢さんお一人でお哀想になお、今夜からシクシク泣いてゐらつしやるよ。」  
「こらいふ父の聲はうるん

でゐた。それが歌治の胸に泌渡るやうな痛々しい思ひをさせて、瞬く眼のうちにはひとりでに曇つて來るのであつた。  
「へえ……。」  
長い息を曳いたまゝ、暫らく沈黙を續けた。  
「これは此處ツ切りの話だ



「私もそのうには見舞つてあげらわよ。どうぞね。お嬢さんに宜しく……父、人の身の上はいろくねえ。」  
話してゐるうちに胸が一杯になつて意氣地も無く涙がこぼれた。思ひ切つて左

全く他人は薄情な者だなんてことを今更らながらあきれるのだよ。」  
「それがね、父、當世よ、今の人情は皆んな然うなんだから仕方がないわ」  
「だつて癪じやねえか」  
「口惜しがつたつて仕方がないわ、人は如何だらうと斯うならうと、お前さんだけね、ちよいと、確乎勤めてやつて下さいよ、ね、取分に御主人を大切にね、お嬢さんの御面倒を見てあげて下さいな、お頼みだからね、父。」  
「む。それなら心配するな俺の心は大丈夫だよ。」

様ならと言はうとしたが、その聲すら出なかつた。お座敷に戻ると何處へ消えたのか早乙女の姿が見えなかつた。  
残つた五六人のお客は皆などろ／＼酔ッぱらつて、今にも掴み合を始めさうな權幕で喚き立てるやら、逃げ廻る藝者たちを取つかまへて髣髴しやの頬を摺りつけるやら、殺風景な場面と變つてゐた。お酌などはおちけをふるつて傍へも寄りつかなかつた。踏み壞された、器物なども廊下へ片附けられてあつた。  
「まあ嫌ねえ、トチモひどいのね。これでもお客のうちか知ら……姐さん、私、歸して貰ひますわ。」

カクテル  
1752  
レストラン

看護婦急派  
の求めに應  
じます  
平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七番

一冊の代金で  
御希望通りな  
五冊の雑誌が  
自由に讀める  
川崎巡 回文庫  
電話六三〇番  
(申込次第規則書進呈)

貸切は●●●  
セダン揃ひで!  
貸切専門の!  
昭和タクシーへ  
電話三四三



本日ヨリ堂々公開  
舊お盆興行隨一の名番組  
バラマウント社第二回  
出張特別公開大提供:  
一年只一作の巨篇携いて  
軽るい笑へと愉快な  
冒険を乗せたハロルド  
ロイドの大熱演……  
ロイドの足が第一 大作 十卷  
東亞キネマ特作名篇:嵐寛壽郎:原駒子主演  
右門捕物帳十六番 手柄  
東亞キネマ現代劇:青木繁:川島奈美子  
子を廻る人生  
帝キネ超大作時代劇:國徳麿:高木新平主演  
時代の反抗兒 三十卷  
高級 常設 有聲座 電話 四四六番

科人婦・科産  
院醫坂井  
町田町平  
番九五五話電  
貰つて重寶  
贈つて便利な  
三井の商品切手  
平三電 八番

耳鼻咽喉科専門  
大和田醫院  
平町南町  
電話一七〇〇  
難波醫院  
平町新川町  
【釜屋新宅向】  
電話五〇二番

市原醫院  
平町田町(電話二一四番)  
内科、小兒科 市原卯太郎  
外科一般、婦人科 市原陸郎  
外科、梅毒、淋毒 市原三三男  
入院隨時